

救急・救助統計



救急救助統計

救急件数

平成26年中の救急出場件数は6,385件（1日平均の出場件数は17.5件）で、前年と比べ14件（0.2%）の減少となりました。事故種別の内訳は、急病が3,995件（62.6%）と最も多く出場件数の半数以上を占めています。次いで一般負傷が750件（11.7%）、交通事故が700件（11%）の順になっています。また、救急搬送人員についても、前年と比べ13人（0.2%）の減少で6,022人となりました。年齢区分から見ると、高齢者（65歳以上）の救急搬送人員が増加しており、前年と比べ96人増加の3,148人となりました。これは救急搬送人員全体の52.3%を占めています。

バイスタンダー（その場に居合わせた者）の重要性

突然倒れた傷病者の命を救い、社会復帰に導くためには「救命の連鎖」が必要不可欠です。この「救命の連鎖」は、①心停止の予防②心停止の早期認識と通報③一次救命処置（迅速な心肺蘇生法と迅速な除細動）④二次救命処置と心拍再開後の集中治療という四つの輪（鎖）から成り立っており、バイスタンダー、救急隊、そして医師や看護師が連携することにより救命効果が高まります。

平成26年中に救急隊が搬送した心肺機能停止（心臓及び呼吸が止まった状態）傷病者155人のうち、バイスタンダーによる心肺蘇生法が行われたのは109人で、このうち6人の方が社会復帰されました。突然の心肺機能停止傷病者には、バイスタンダーによる早期通報と心肺蘇生法がなされ、迅速に除細動が行われることが社会復帰に繋がると考えられます。

当市では毎月19日と第2日曜日に「普通救命講習会」を定期開催しており、一般市民の方々に心肺蘇生法やAEDの使用方法を分かりやすく指導しています。この講習会以外にも、短時間で、かつ、小学生（中高学年）でも受講可能な「救命入門コース」があり、応急手当の普及に取り組んでいます。

救助件数

平成26年中の救助出動件数は71件（1ヶ月平均5.9件）となり、前年と比べ8件の増加となりました。

事故種別の内訳は、交通事故31件（43.7%）、その他の事故18件（25.4%）、建物等による事故11件（15.5%）の順であり、子供の車両等への閉じ込めなどによるその他の事故救助の出動が前年よりも12件増加しています。

また、救助人員については12人増加の51人となりました。

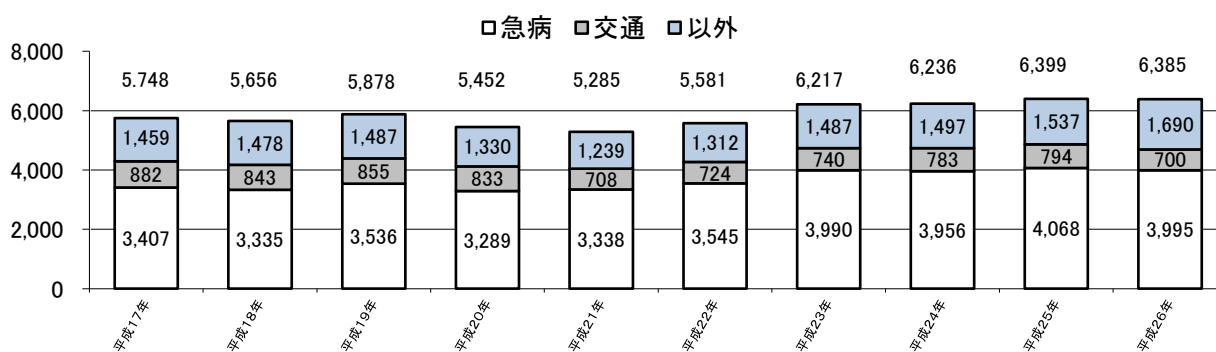
年別救急出場件数

(平成17年～平成26年)

年別 事故種別	出場 件数	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				
												小 計	転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 輸 機 材 等 送	そ の 他
17年	5,748 (37)	47			882 (26)	110	48	628 (1)	55	67	3,407 (10)	504	422			82
18年	5,656 (34)	52		1	843 (21)	143	43	590 (1)	47	71	3,335 (12)	531	433	1	1	96
19年	5,878 (53)	36 (1)		1	855 (36)	119 (2)	38	613 (1)	50	65	3,536 (12)	565 (1)	481	2 (1)		82
20年	5,452 (37)	46			833 (28)	104 (1)	43	572 (1)	45	67 (1)	3,289 (6)	453	392			61
21年	5,285 (20)	39	1	2	708 (15)	74	41	591	24	72	3,338 (5)	395	324	1		70
22年	5,581 (23)	39 (2)		1	724 (17)	106	46	593	40	78	3,545 (3)	409 (1)	349 (1)		19	41
23年	6,217 (33)	47 (1)	2	2	740 (18)	97	73	685	24	71	3,990 (13)	486 (1)	402 (1)		22	62
24年	6,236 (43)	35		1	783 (38)	131	56	686	42	74	3,956 (4)	472 (1)	365	1	8	98 (1)
25年	6,399 (35)	38		2	794 (27)	147	36	701	38	62	4,068 (8)	513	409		8	96
26年	6,385 (45)	42 (1)			700 (23)	171 (2)	59	750	27	64 (2)	3,995 (16)	577 (1)	453 (1)	1	7	116

※ () 内は、高速道路出場件数 (26年中出場件数 中央道14件・東名8件・名神15件・名古屋高速8件)

救急出場件数の推移 (平成17年～平成26年)



救急支援出動件数 (平成24年～平成26年)

年 別	救急出場件数(救急車)	救急支援出動件数(消防車)	割 合
平成24年	6,236件	1,571件	25.2%
平成25年	6,399件	1,742件	27.2%
平成26年	6,385件	1,619件	25.4%

年齢別搬送人員

(平成26年中)

種別 年齢・性別		合計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	男	3,398	8			423	145	45	348	16	18	2,143	252
	女	2,624	8			283	21	16	364	8	26	1,689	209
	計	6,022	16			706	166	61	712	24	44	3,832	461
新生児 (生後28日未満)	男	8										3	5
	女	11							1				10
	計	19							1			3	15
乳幼児 (生後28日～6歳)	男	165				13			50			92	10
	女	114				10			32			64	8
	計	279				23			82			156	18
少年 (7歳～17歳)	男	201				58		35	38	3	1	58	8
	女	86	1			25		11	7			38	4
	計	287	1			83		46	45	3	1	96	12
成人 (18歳～64歳)	男	1,406	5			284	125	10	85	12	10	798	77
	女	883	5			176	21	4	55	5	20	533	64
	計	2,289	10			460	146	14	140	17	30	1,331	141
高齢者 (65歳以上)	男	1,618	3			68	20		175	1	7	1,192	152
	女	1,530	2			72		1	269	3	6	1,054	123
	計	3,148	5			140	20	1	444	4	13	2,246	275

傷病程度別搬送人員

(平成26年中)

種別 程度別	合計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
死亡	98				1			8	1	9	77	2
重症	406	2			25	16	2	21	1	3	262	74
中等症	3,306	9			273	108	20	339	10	23	2,166	358
軽症	2,212	5			407	42	39	344	12	9	1,327	27
その他												
合計	6,022	16			706	166	61	712	24	44	3,832	461

1. 死亡……初診時において死亡が確認されたもの。
2. 重症……傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。
3. 中等症……傷病の程度が入院加療を必要とし、その期間が3週間未満のもの。
4. 軽症……傷病の程度が入院加療を必要としないもの。
5. その他……診察拒否等、医師の診断がないもの。

医療機関別傷病程度

(平成26年中)

搬送先医療機関名			傷病程度 (搬送人員)	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他
医療機関 市内	救急告示	小牧市民病院	3,859	67	255	2,172	1,365		
		小牧第一病院	350		18	175	157		
	非告示	その他の市内医療機関	29		2	7	20		
医療機関 市外	救急告示	春日井市民病院	918	19	34	432	433		
		さくら総合病院	617	12	57	355	193		
		その他の市外医療機関等	202		30	134	38		
	非告示	その他の市外医療機関等	47		10	31	6		
合計				6,022	98	406	3,306	2,212	

過去5年間の救急救命士の運用に関する統計表

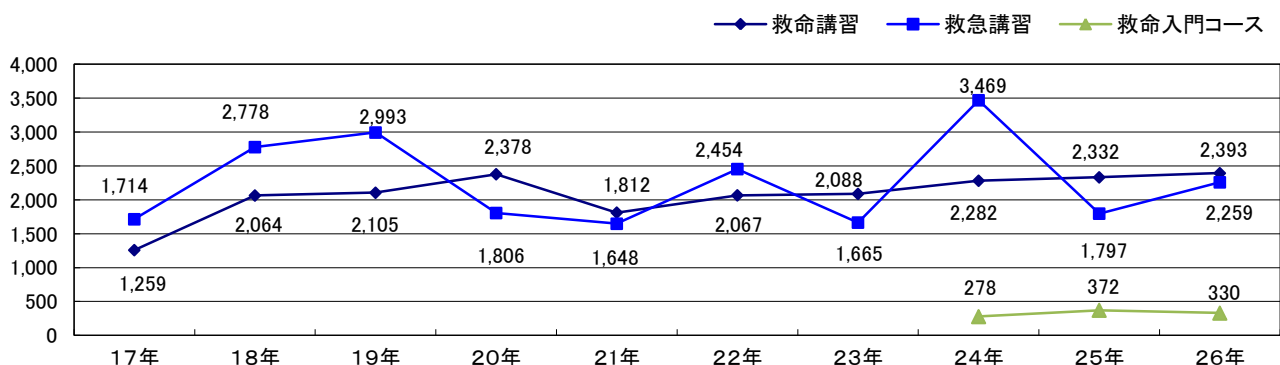
(平成22年～平成26年)

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	
救急出場件数	5,581	6,217	6,236	6,399	6,385	
救急搬送人員	5,294	5,840	5,845	6,035	6,022	
運用救急救命士数	20	22	24	26	26	
救急救命士出場件数	5,011	5,944	6,184	6,394	6,384	
救急救命士搭乗率	89.8%	95.6%	99.2%	99.9%	99.9%	
特定行為実施傷病者数	80	78	92	70	94	
特定行為	器具による気道確保	74	70	82	66	88
	静脈路確保	14	16	24	15	24
	薬剤投与	10	14	19	12	19

※ 運用救急救命士数は暦年中に1日でも運用していれば数値に計上する。

※ 特定行為は傷病者1名に対して重複し行う場合がある。

救命講習等受講者数 (平成17年～平成26年)



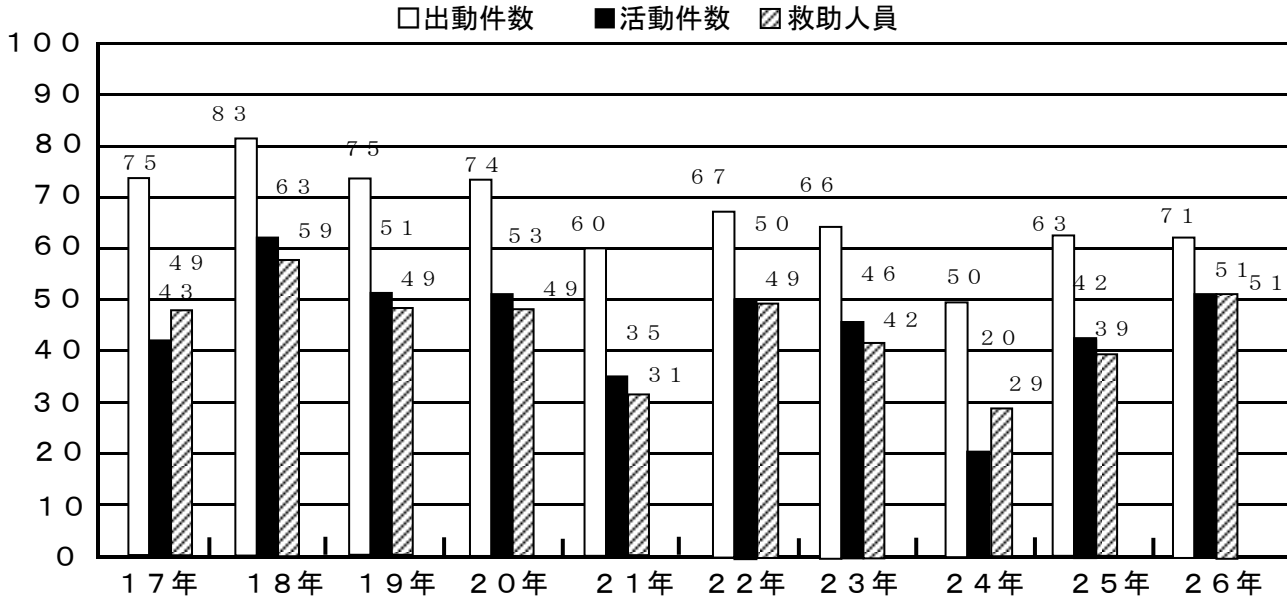
※ 救命講習とは、国の要綱に準拠した講習時間とカリキュラムで行うもの。(上級及び普通を含む)

救急講習とは、救命講習の要件を満たさないもの。

救命入門コースとは、対象者が10歳以上で、胸骨圧迫とAEDの使い方を習得することを目的とした90分のコース。

救助件数・救助人員

(平成17年～平成26年)



事故種別	平成	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年										
火災	出動件数	3	15	4	(1)	6	2	4	5	1	4	4									
	活動件数	3	15	4	(1)	6	2	4	5	1	4	4									
	救助人員	3	6						2	9	3	1									
交通事故	出動件数	54	(4)	43	(4)	43	(7)	42	(8)	30	(4)	35	(4)	30	(4)	37	(3)	39	(3)	31	(5)
	活動件数	28	(2)	30	(3)	29	(6)	28	(2)	17	(1)	25	(3)	16	(1)	13		25	(2)	24	(4)
	救助人員	34	(5)	38	(2)	29	(7)	32	(3)	18	(1)	29	(3)	19	(1)	14		24	(2)	31	(8)
水難事故	出動件数	1	2	2			2			2		2		2		4					
	活動件数	1	2	2			2			2		1		3							
	救助人員	1	2	1			2			2		1		3							
風水害等 自然災害	出動件数						1	1													
	活動件数							1													
	救助人員																				
機械等による事故	出動件数	2	6	9		2	3	5		4				2		5					
	活動件数	1	3	4		2		3		3				1		3					
	救助人員	1	2	7		2		3		3				1		3					
建物等による事故	出動件数	4	3	8		9	12	13		18		8		8		11					
	活動件数	3	3	5		8	8	9		14		5		5		8					
	救助人員	3	2	5		7	6	9		11		5		4		6					
ガス及び 酸欠事故	出動件数						1	1		1						2					(1)
	活動件数						1	1		1											1
	救助人員						1	1													1
破裂事故	出動件数																				
	活動件数																				
	救助人員																				
その他の 事故	出動件数	11	14	(1)	9	15	9	8		6		2		6		18					
	活動件数	7	10		7	9	5	7		5				4		11					
	救助人員	7	9		7	8	4	7		5				4		9					
合計	出動件数	75	(4)	83	(5)	75	(8)	74	(8)	60	(4)	67	(4)	66	(4)	50	(3)	63	(3)	71	(6)
	活動件数	43	(2)	63	(3)	51	(7)	53	(2)	35	(1)	50	(3)	46	(1)	20		42	(2)	51	(4)
	救助人員	49	(5)	59	(2)	49	(7)	49	(3)	31	(1)	49	(3)	42	(1)	29		39	(2)	51	(8)

※ () は当該数値のうち高速道路上の事故

救助出動状況

車両・人員数

(平成 26 年中)

区分	事故種別		火災	交通 事故	水難 事故	自然 災害	風水 害等	機械 等による 事故	建物 等による 事故	酸欠 事故	ガス及 び	破裂 事故	その 他の 事故	合計
	建物	建物 以外												
出動件数(件)	4		31					5	11	2			18	71
			(5)							(1)				(6)
出動車両(台)	35		135					21	37	9			71	308
			(23)							(4)				(27)
出動人員(人)	108		417					67	114	28			219	953
			(71)							(12)				(83)
活動人員(人)	72		242					42	41	10			103	510
			(40)											(40)

() は当該数値のうち高速道路上の事故

発生場所別件数

(平成 26 年中)

発生場所	事故種別		火災	交通 事故	水難 事故	自然 災害	風水 害等	機械 等による 事故	建物 等による 事故	酸欠 事故	ガス及 び	破裂 事故	その 他の 事故	合計
	建物	建物 以外												
屋内	住居	4							10				4	18
	その他の屋内							3	1	1			2	7
屋外	高速自動 車国道			5							1			6
	その他の道路			22									1	23
	内水面													
	外水面													
	山岳													
	その他の屋外			3					2					5
地下														
その他				1									6	7
計		4		31				5	11	2			18	71